地域社会への貢献（CSRへの取組み）

◎当行のCSRについて

当行は、経営理念の1つに、「地域の発展に尽くします」と掲げ、創業以来、地元企業への円滑な資金供給や経営改善支援など、地域密着型金融の推進に積極的に取組むとともに、環境保全や社会貢献などさまざまな分野で、地域金融機関としての公共的・公益的役割を果たしてまいりました。

中期経営計画においては、基本方針の1つに「永続的な地域貢献活動の推進」を掲げ、「CSRの取組みの充実」に努めています。

当行の経営資源を活かし、地域社会・地域経済の発展および環境保全に継続的に取組むことにより、企業の社会的責任を果たしてまいります。

- ●環境保全活動の推進
- ●社会貢献活動の推進
- ●吉野地区の林業活性化への取組み

外部機関によるCSRの評価

- ●英国FTSE社　当行株式をSRI株価指数「FTSE 4Good（フッチー フォーグッド）」の組入れ銘柄に採用（平成20年）
- ●近畿財務局　「Yoshino Heart プロジェクトの応援・支援」に対して顕彰（平成21年）
- ●近畿農政局　「近畿地産地消給食等メニューコンテスト」で局長賞を受賞（平成22年）
- ●奈良県知事　当行OBによる観光ガイド団体「ナント・なら応援団」に感謝状（平成22年）
- ●農林水産大臣　「木づかい運動」の積極的な普及啓発に対して感謝状（平成23年）
- ●奈良県知事　社会福祉事業への貢献に対して感謝状（平成23年）
- ●奈良県電力利用合理化委員会　「省エネ取組み優秀事業所」として表彰（平成24年）

環境保全活動の推進

環境保全への取組み

●環境ISO活動への取組み

当行は、平成14年、本店および事務センターを対象に環境ISO（ISO14001）の認証を取得し、21年1月には、リサイクルセンターや研修センター等4か所において新たに認証を取得しました。

認証対象部署においてISO規格に準拠した環境保全活動を継続しているほか、認証対象外の支店や関連会社などでも「クールビズ」や「身近な環境保全活動」を実践するなど、当行グループを挙げて環境保全活動を行っています。

また、平成23年には社用車に電気自動車を、24年にはプラグインハイブリッド車を導入したほか、23年には世界銀行が新規に発行した「グリーンボンド」2,000万米ドルを購入し債券投資を通じて地球温暖化対策への貢献を図るなどの取組みも行っています。

全店においてクールビズを実施
（5月1日～10月31日）　～室内温度は28℃に～

●森を育てる取組み

平成16年4月、当行の創立70周年を記念した環境保全活動として、明日香村（奈良県高市郡）の丘陵地に植樹を行いました。

以降は毎年、行員ボランティアによる下草刈りや追加植樹を行っています。

※万葉集にゆかりの草木（ウメ、サクラ、ハギ、ミツマタ、ユキヤナギ、ヤマブキなど）を植樹

●リサイクルセンター

保存期限の過ぎた文書の機密保持とリサイクルを目的として、平成19年6月にリサイクルセンターを設置しました。

大型シュレッダーで裁断した紙を製紙工場に運んでトイレットペーパーやメモ帳などに再生しており、平成24年度中にリサイクルした紙の量は243トンに達しました。

今後も紙ゴミの排出削減と紙資源の循環に貢献してまいります。

リサイクルセンター

地域社会への貢献（CSRへの取組み）

環境配慮型金融商品・サービスラインナップ

当行は、地域における環境保全活動を金融面からも積極的にバックアップしています。

個人のお客さま

〈ナント〉エコマイカーローン	「低公害車」または「低燃費車」に該当する新車のご購入を応援する低金利（〈ナント〉マイカーローン比）の商品です。
〈ナント〉エコリフォームローン	省エネのための住まいのリフォームを応援する低金利（〈ナント〉リフォームローン比）の商品です。

事業者のお客さま

〈ナント〉グリーン私募債	環境に配慮した経営や環境負荷の低減に資する事業を行われている企業が発行される私募債の引受に際して、保証料や手数料の一部を優遇する商品です。
〈ナント〉環境配慮型融資	環境に配慮した経営を行われている企業の環境配慮にかかる設備資金に対応した、当行所定の環境ランクに基づき金利を優遇する商品です。
〈ナント〉みのりアシスト	奈良県内の農業者等のお客さまに対して、設備資金や運転資金など農業に関する事業資金をサポートする融資商品です。

環境方針

南都銀行は、日本人の心の故郷（ふるさと）、古都奈良の地に本拠を構え、地域とともに歩んでおります。悠久の歴史の中で守られてきたこの素晴らしい風土を後世に引き継ぐため、地域のリーダーシップを取って、環境の保全と循環型社会の形成に努めてまいります。

1. 恵まれた自然環境や、歴史的風土の保全に配慮し、環境への負荷低減を事業活動の基本と認識し行動するため、「環境マネジメントシステム」を構築します。なお、このシステムは継続的に改善し、汚染の予防に努めます。
2. 環境に配意した金融商品・サービスの開発・提供等を通じ、環境保全に取り組むお客さまを支援します。
3. 日常業務を行う中で、環境への影響を考慮することにより、省資源・省エネルギーと廃棄物の削減を推進します。
4. 環境法規制、およびその他の要求事項を順守し、環境保全活動に取り組みます。
5. この方針を基に実践するため、具体的な環境目的・環境目標を設定し、定期的に見直しを行います。
6. 環境方針を全役職員および当行のために働く人に周知するとともに、内外に公開します。

株式会社　南都銀行
取締役頭取 植野康夫

用語解説

環境マネジメントシステム
環境保全のための活動を行う上で、組織を管理し、活動を監査するための仕組み。このシステムを運用するための基本となる指針が、上記の「環境方針」である。

◎「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則」に署名

同原則は、21世紀における持続可能な社会の実現には金融の果たす役割が重大であるとして、環境省の審議会の政策提言を受け策定されたものです。

当行は平成23年12月、同原則に署名しました。同原則の趣旨を当行の環境ISO活動に反映させることにより、地域における環境保全に金融を通じて貢献してまいります。